



## 盛岡市プレスリリース

～盛岡市立病院 基本理念～  
優しさといたわりのある病院  
信頼され優れた医療の病院  
開かれた地域医療のための病院



令和5年10月13日  
市立病院 総務課

市政記者クラブ加盟社 各位

# 手術支援ロボットによる手術について

盛岡市立病院では、地域医療を支える公立病院として、先進的かつ幅広い、より安全な低侵襲手術の実施が可能な、手術支援ロボット「ダヴィンチ Xi」（以下「ダヴィンチ」という。）※を導入しております。導入後は、令和4年から令和5年に掛けて、当院の職員が、規定のトレーニングコースを受講し、施術に必要な教育・訓練を十分に受け、ライセンスを取得しました。その後、令和5年6月からダヴィンチによる直腸手術を開始しています。

つきましては、手術支援ロボットによる手術について、市民の皆様にお知らせたく、各報道機関におかれましては取材方よろしくお願いたします。

なお、ダヴィンチ導入については、県内では3機関目となり、盛岡市では唯一になります。ダヴィンチ手術により、傷口が小さいこと、術中の出血が少ないこと、術後の疼痛を軽減するなどのメリットが得られるため、安全な低侵襲手術を望む市民のみならず多くの人々の後押しとなることが期待されます。

### ➤手術部長からのコメント

直腸癌では、骨盤内という狭い空間において腫瘍の完全切除に加えて陰部や肛門に広がる血管や神経の温存操作を必要とします。ダヴィンチ手術システムの腹腔鏡手術と開腹手術に対する優位性は、立体像である3D高解像度システムと多関節機能を有したアームを操作することで得られる手術完遂率の高さと安全性です。

視野の良さと細かい作業が得意であることは、直接ダヴィンチに触れてもらうことでより実感出来ると思いますのでぜひ取材でご体験ください。

### 記

- 【取材可能日時】 令和5年10月30日（月） 15:00～16:00  
**手術等日程の都合もありますので、事前に申込願います。**  
【場 所】 盛岡市立病院・3階手術室（盛岡市本宮 5-15-1）  
【担当 医師】 外科第二科長 藤原 久貴



#### ※ダヴィンチ Xi…

米国 Intuitive Surgical 社が開発した最先端の手術支援ロボットで、体表に設けた1～2cmの穴から内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な内視鏡手術を可能にする。術者は3Dモニター画面を見ながら術野に手を入れているように手振れ防止機能の付いたロボットアームを操作して手術を行う。今回導入した「ダヴィンチ Xi」は、ダヴィンチシリーズの第4世代にあたる最新鋭機となる。手術件数は世界で1,300万症例以上、導入台数は、世界で約8,000台、日本では約600台導入されている。（メーカー資料より抜粋）

#### 【問い合わせ先】

盛岡市立病院 総務課  
担当：春日川（かすがかわ）  
TEL：019-635-0101（内線2343）

【参考資料】

・手術支援ロボットによる手術イメージ

ダヴィンチには、手振れ防止機能の付いた4本のロボットアームがあり、それに付けられた内視鏡カメラと3本の鉗子を体内に挿入し、執刀医は3Dモニターを見ながら座って操作します。

執刀医の細かな手の動きをコンピュータが忠実に伝え、アームが連動して手術を行う仕組みです。ダヴィンチの鉗子は、手首以上の可動域と、柔軟でブレのない確かさを持ち、指先にも勝る細かな動きを可能にしています。



写真：手術支援ロボット概要

日本での診療科別症例数トレンド



※当院で実施可能な直腸がん手術は、平成 30 年（2018 年）に国内の健康保険の適用対象となりました。